

会 議 要 旨

1 会 議 名 第5期北九州市人権施策審議会 第3回会議

2 議 題

- (1) 前回会議以降の人権教育の取組みについて
- (2) 前回会議以降の人権啓発の取組みについて
- (3) その他

3 開 催 日 時 平成28年2月15日(月)
15時00分 ～ 17時00分

4 開 催 場 所 北九州市人権推進センター 研修室

5 出席した者の氏名

(委 員) 稲積謙次郎会長	
ほか委員10人	計11人
(事務局) 保健福祉局長	
ほか事務局関係者9人	計10人

6 議題、議事の概要

(1) 前回会議以降の人権教育の取組みについて

教育委員会人権教育担当課長より、平成27年8月以降に実施した、社会教育の取組みである地域研修、企業研修、人権学習講座、啓発指導者育成等について、それぞれの事業内容についての説明を受けた。

また、泉台小学校で実施した特別人権授業の取材VTRを視聴し、その後、委員が各々の専門的立場や市民の視点から意見を述べた。

【主な質問や意見】

- 小学校における特別人権授業について、「いのちをいただく」という素晴らしい内容の紙芝居を活用した授業である。ぜひ、1校だけの特別な授業ではなく、どの小学校でも行っていただきたい。
- 保護者の参加のみでなく、地域の民生委員、市民センターの館長など、より地域を巻き込んだ授業にしてはどうか。
- 学校での授業で終わるのではなく、児童が家庭に持ち帰り、親子での話し合いに繋がるような取組み、また、他の授業で再度取組むというような活用を考えてはどうか。

(2) 前回会議以降の人権啓発の取組みについて

人権文化推進課長から、平成27年度8月以降に実施した人権啓発活動の取組み内容について説明を受けた。人権啓発ラジオ「明日への伝言板」のシナリオを紙芝居にしたDVD、人権週間に放映した啓発CM、人権の約束事運動のPR用DVDを視聴した後、各委員がそれぞれの専門的立場や市民の視点から意見を述べた。

【主な質問や意見】

- 「明日への伝言板」紙芝居DVDは視覚、聴覚の双方から心に訴える、とてもいい教材である。十分知られてないので、もっとPRしてはどうか。
- 人権の約束事運動のマスコットキャラクター、モモマルくんは、地域でもとても浸透してきていると思う。幼稚園の運動会でもキャラクターが活用されていた。
人権推進センターで以前作成した絵本についても、お遊戯会の劇の題材として活用されている。

(3) その他

- ① 同和対策課長より、北九州市が平成27年9月から実施している、住民票の写し等の不正取得に係る本人通知制度についての説明があった。

【主な質問や意見】

- (1) 不正取得が明らかになった場合に通知する、とあるが、不正取得か判断はつくのか。
(回答) 北九州市は窓口審査を厳しくしており、不正に取得していると判断が出来る場合は交付自体をしないので、実際は、通知することはほとんどないと考えられる。しかし、制度をつくることで、不正取得の抑止になると考えている。

- ② 人権文化推進課長より、性的マイノリティの方の人権に関する取組み（申請書類の性別欄の見直し、職員人権研修の実施）についての説明があった。

【主な質問や意見】

- 各申請書を見直ししているのか。
(回答) 市民課の証明書類の申請書など既に実施済みのものもある。
また今年度中にできるもの、検討中のものなど様々。
法令などで、削除できないものもある。性別欄の必要があるかどうかを見直ししたものである。

③次回会議について

人権文化推進課長より、次のとおり説明があった。

- ・日程：7月～8月
- ・内容：①平成27年度人権行政指針関係事業の概要
②北九州市民を対象にした、人権に関する意識調査の結果報告

③人権行政指針策定（平成17年11月）から10年経った。これまでの取組みを振り返り、今後どのように取組んでいくとよいかということ、それぞれの立場で委員の皆様におたずねしたい。

事前にご意見を頂いて、その内容を整理したものを次回会議でご審議いただく。

（会長からの意見）

人権行政指針は、全国でもハイレベルのものと評価されている。

10年という節目を迎え、第二ステージに向けて、内実化することが問われている。事業概要については、毎年審議会で議論し、次年度の計画に反映してもらっている。

委員各々の専門分野でも、全般的なものでもいいので、次回会議までにお考えいただき、事務局に提出し、次回会議の席でご提案いただきたい。

（問い合わせ先）

北九州市保健福祉局人権推進センター人権文化推進課

電話番号 （562－5010）